

ドローン活用シカ駆除

【幕別】ドローンを活用したシカの一斉駆除が22日、町内で行われた。幕別、大樹、広尾の3町は3月、ドローン(小型無人飛行機)によるシカ駆除システムの実証試験に取り組みキャリオ技研(本社名古屋、富田茂社長)と連携協定を締結、今回が初の事業となった。

ドローンが上空から赤外線カメラでシカの居場所を熱感知し、その情報を基に駆除を行う。幕別近隣センター(町幕別)に集まり、午前4時半ごろから茂

上約40メートルの高さに飛ばして調べた。



ドローンを操作する関係者

幕別 上空から発見、地図に表示

ドローンはシカを上空から発見し、網目状に分割して地図に表示。ただ、地表では確認できなかった。最終的に猟友会のメンバーが独自に発見し、1頭を狙撃した。

矢野部会長は「キャリオ技研の関係者が幕別の地形をよくわかっていないハンディがあった。実績を積み重ねると効率が高くなる」と強調。富田社長は「特殊なフィルターを使い、人とシカの違いを見分けることはできた。ほぼイメージ通りで成功」と手応えを得ていた。

町農林課は「具体的な課題が見えた。今後も継続したい」と、来年以降も同時期に行う考えを示した。(松村智裕)



地図を見ながら話し合う猟友会メンバー